

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

385-249

事務事業名	家族介護支援事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	保健福祉部	課等名	介護高齢課		包含する細々目	5	5	2	1	50	3	6,429
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり											
施策	35 高齢者福祉の推進											
実施区分	継続	会計	介護保険	環境調整会議	不要	関連計画 条列等		高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画				
		事業期間	12	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	要介護度3以上の高齢者の介護者	要介護度3以上の高齢者の介護者数(推計値)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			1974				
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	介護者の精神的、経済的負担を軽減する。	各事業の利用者数 / 要介護度3以上の高齢者の介護者数(推計値) * 100	18目標	30	最終目標	50	23
			18実績	36	19目標	40	↑
			23目標	50	23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
			18実績		19目標		↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	要介護高齢者の介護者に対し、その精神的、経済的負担を軽減するため、介護用品購入券支給事業、介護者リフレッシュ事業、徘徊高齢者家族支援サービス事業を実施する事により、要介護者の在宅生活の継続及び向上を図る。 具体的には、介護用品購入券支給事業により紙おむつ・尿取りパットを購入できる券を支給(年間6万円分)する事で経済的負担を軽減する。また、介護者リフレッシュ事業により温泉や食事に参加する事で休養をとり、徘徊高齢者家族支援サービス事業により徘徊があった場合に位置情報を提供できる(月額525円)事で、精神的負担の軽減をする。 徘徊 68,250円 介護用品 旧飯田36名×60000 上・南 20名×60000 介護者リフレッシュ 1地区90000円×20地区 1人10000円×120人	介護者の要望により要介護者を預かる施設の確保及び経費の経済的支援を行う。介護者リフレッシュ事業は見直しをして利用しやすい様な内容とする。 介護用品購入券支給事業は18年度より低所得者への社会福祉法人減免条件が緩くなり、該当者が増加する予想された。	徘徊高齢者家族支援 介護用品支給者 リフレッシュ事業参加者	2名 15名 519名
	要介護者を預かる施設の確保及び経費の経済的支援を行い、介護者が事業へ参加し易い環境を整える。	徘徊高齢者家族支援 介護用品支給者 リフレッシュ事業参加者	5名 56名 520名	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定		
	国庫支出金	1,291	2,591
	県支出金	645	1,295
	起債		
	その他	3	31
一般財源	1,254	2,512	
事業費計(A)	3,193	6,429	
人件費	正規職員所要時間	18年度 140	19年度 140
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	501	501
	トータルコストA+B	3,694	6,930

特定財源内訳や補足事項	18年度以降は、任意事業 国40.5% 県20.25% 市20.25% 1号保険料19%
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	安心していきいき暮らせる	安心して暮らせる高齢者の割合	現状値	59.6	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	60
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ 介護用品購入券支給事業、徘徊高齢者家族支援サービス事業については、介護保険制度だけでは対応できない部分について、在宅生活継続希望者の介護者に対する援助が必要となったため。	事業を取り巻く状況の変化 上村、南信濃地区の事業を担当してくれる業者が少ない。	事業に対する市民や議会の意見 事業の継続を希望する声が市民から寄せられている。
--	--	--

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 重度要介護者を昼夜介護している方の、精神的、経済的負担を軽減できる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 事業への参加をしやすい内容にすることで成果の向上になる。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 重度者に限定する		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 介護者の精神的、経済的負担が重くなれば、在宅での生活維持が困難になる方がでてくる。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 介護者への支援は必要である。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 重度要介護者を介護している方を支援することで、介護が必要になった方でも在宅生活を継続することができる。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 不可能 (その理由) 事業の内容からいって経費は必要になる。
		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 全額自己負担であるオムツ代の軽減、昼夜重度要介護者を介護している方の支援になっている。徘徊高齢者支援では自己負担有り。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 事業の内容を多くの方が参加しやすいものにする。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断 必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	